

感染症速報

作成日: 令和 6 年 2 月 2 日

第4週 1月22日 ~ 1月28日

<http://www.pref.nagasaki.jp/departement/iki-h/index.html>

	状況	疾患名	状況	疾患名	状況	疾患名	状況
	定点当り		定点当り		定点当り		定点当り
インフルエンザ	⊗	RSウイルス感染症	😊	咽頭結膜熱	😊	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	😊
警報開始30 終息10	12.3	警報開始 - 終息 -	0.0	警報開始3 終息1	0.0	警報開始6 終息4	1.0
感染性胃腸炎	😊	水痘	😊	手足口病	😊	伝染性紅斑	😊
警報開始20 終息12	0.0	警報開始2 終息1	0.0	警報開始5 終息2	0.0	警報開始2 終息1	0.0
突発性発しん	😊	ヘルパンギーナ	😊	流行性耳下腺炎	😊	新型コロナウイルス感染症	😊
警報開始 - 終息 -	0.0	警報開始6 終息2	0.0	警報開始6 終息2	0.0	警報開始 - 終息 -	3.3

😊	発生報告なし	😊	少数の発生あり	⊗	流行に注意 【注意報レベル】	⊗	流行中 【警報レベル】
---	--------	---	---------	---	-------------------	---	----------------

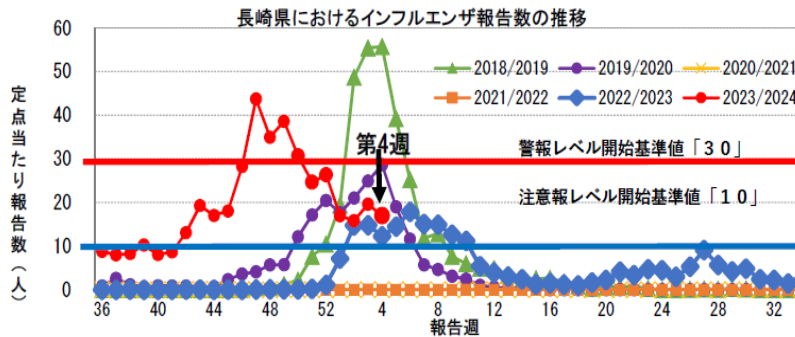
警報レベル基準値は表示のとおり(は設定なし。), 注意報レベル基準値は、インフルエンザ:10 水痘:1 その他は設定なし。

お知らせ

インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症について

現在長崎地区に**インフルエンザ流行警報**が発表されています。

インフルエンザの2024年第4週の定点当たりの報告数は「12.33」でした。



また、新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告数は「3.33」でした。

県全体で新型コロナウイルス・インフルエンザいずれも10代において報告数が増加しています。

手洗い・手指消毒、適切なマスクの使用、換気等の基本的な感染対策を励行し予防に努めましょう。

梅毒の患者数が増加しています

長崎県では2023年に147件の梅毒の報告があり、現行の調査が開始されて以降、過去最多の報告数となっています。

2024年は第4週までに8件の報告が上がっています。2023年以降の報告を年代別にみると、20代が全体の4割以上を占めています。男女別にみると、男性では20代および30代、女性では20代が多くなっています。

梅毒は梅毒トレポネーマの感染によって生じる性感染症で、感染者との粘膜の接触を行う性行為感染や妊婦の胎盤を通じて胎児に感染する(=先天性梅毒)経路があります。感染後3~6週間の潜伏期を経て、初期には感染部位の病変(初期硬結、リンパ節腫脹等)、続いて血行性に全身へ移行して皮膚病変(バラ疹や梅毒疹等)や発熱、倦怠感等の多彩な症状を呈するようになります。無治療の場合、感染から数年~数十年経過すると心血管梅毒、神経梅毒に進展します。また、妊娠中に感染すると、お腹の中の赤ちゃんに感染し、流産や死産の原因になったり、障害を持って生まれてくることがあります。妊娠早期に発見、治療すれば赤ちゃんに影響を与える可能性も低くなります。県内では2023年に妊娠中7名の報告が上がっています。2024年で1名の妊娠中の報告が上がっています。

梅毒は早期診断、早期治療が重要ですので、感染を疑われる症状がみられた場合、感染の不安がある場合には、早期に医療機関を受診しましょう。また県内の保健所では、無料の相談・検査を受けられます(事前の連絡・予約が必要)。感染を予防するにはコンドームを適切に使用することや感染のリスクとなる不特定多数の人との性的接触を避けることが重要です。詳細は長崎県感染症情報センター「梅毒の発生状況」に掲載しています。

